SPring-8利用推進協議会 第2回粉末材料構造解析研究会 副題 その場観察に注目した粉末材料構造解析の最前線 2011年10月7日

軽元素系水素貯蔵材料開発 におけるX線結晶構造解析

(株)豊田中央研究所 則竹 達夫

TOYOTA CRDL, INC.-----

燃料電池車用水素貯蔵材料

L. Schlapbach and A. Züttel Nature <u>414</u> (2001) 353-358





水素吸蔵合金

LaNi₅H₆, (Ti-Cr-V)H₂ Mg₂NiH₄

Metal H
n

重量水素密度 水素放出温度





研究されている材料

2010 DOE Hydrogen Program Merit Review and Peer Evaluation Meeting より







SPring-8 BL02B2(粉末結晶構造解析), BL19B2(產業利用)





加熱過程での結晶構造変化の解析

ホウ水素化合物 M(BH₄)_n Ca(BH₄)₂の結晶多形(, ,)の解析

Mg(BH₄)₂ + xMg(NH₂)₂ 混合系 Mg(BH₄)(NH₂)の解析

TOYOTA CRDL, INC.----

ホウ水素化合物の材料探索





Ca(BH₄)₂の粉末X線回折



Ca(BH₄)₂の高温粉末X線回折





室温測定 (300K) -Ca(BH₄)₂ Ca(BH₄)₂•H₂O



高温測定 (433K)

 $-Ca(BH_4)_2$

 $-Ca(BH_4)_2 + H_2O$



室温測定 (300K) -Ca(BH₄)₂ Ca(BH₄)₂•H₂O 高温測定 (433K) -Ca(BH₄)₂ -Ca(BH₄)₂ + H₂O





MEMによる -Ca(BH₄)₂の電荷分布

Maximum Entropy Method 最大エントロピー法 M. Takata, E. Nishibori, M. Sakata, Z. Krystallogr. 216 (2001) 71.





 $3Ca(BH_4)_2$ $2CaH_2 + CaB_6 + 10H_2$ H=32kJ/mol H₂



混合系での水素放出低温化

Mg(BH₄)₂+xMg(NH₂)₂ (x=1,1.5,2)における水素放出過程 の結晶構造変化を解明する.







$Mg(BH_4)_2 + xMg(NH_2)_2$ 試料

試料作製: $Mg(BH_4)_2$ および $Mg(NH_2)_2$ 粉末を混合

___**混合比率**:x=1, 1.5, 2 Mg(BH₄)₂ + xMg(NH₂)₂ ボールミリング (Ar 雰囲気中 0.1 MPa, 2h) 水素放出(300 ,水素中) 水素放出前・後の試料粉末を ガラスキャピラリー(0.3mm)に挿入 X線測定: SPring-8 ビームラインBL19B2 X線波長 =0.8 N₂ガス吹付けによる加熱 OYOTA CRDL, INC.—



その場測定による結晶構造解析







水素貯蔵材料の開発では、状態解析技術が重要であり、 放射光による粉末X線回折は有力な解析手段である、特に、 高温測定は水素放出過程の解明に必要である。



・中性子回折との併用による精密解析
X線:電荷分布 中性子:原子核位置

·水素化特性測定中での構造変化解析
圧力-組成-等温線上でのその場測定

・非晶質構造の解析
非晶質相の水素吸蔵・放出過程



水素吸蔵合金の圧力-組成-等温線

_ TOYOTA CRDL, INC.—